

事業内容で分類		創業形態で分類	
地域資源活用	環境・リサイクル・新エネルギー	スピンオフ・独立	女性起業
新商品・新サービス開発	ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス	大学発ベンチャー	シニア起業

オーガニック甘夏みかんの花びらによる ネロリ化粧品の開発・販売

株式会社ネローラ花香房 代表取締役 森田恵子さん



住所：熊本県熊本市九品寺 1-7-40 松栄ビル 4 階

電話番号：096-372-8284

設立：2009年1月

FAX 番号：096-372-8286

資本金：1,460万円

E-mail：info@neroli-hana.com

従業員数：3名

HP：<http://www.neroli-hana.com/>

主要事業：化粧品の製造・販売

■創業のきっかけ ～きっかけはNPOでの活動

森田社長は、20代の頃から YMCA、YWCA などの国際交流団体で、アフリカやアジア地域との国際交流事業に携わっていた。その時に、北アフリカに住んでいる人からの情報で、ビターオレンジの花の蒸留水が化粧水・傷薬・胃腸薬・香料等さまざまなものに使われていることを知った。その時は「オレンジの花ってすごい効果があるんだな」と思ったぐらいで終わっていたが、ビターオレンジの花の代わりに、甘夏みかんの花で代用できることがわかり、水俣産の無農薬の甘夏みかんを使うことで水俣の地域交流に役立てようと、自分たちでオレンジフラワーウォーターをつくってみることにした。

NPO法人「くまもとレインボープロジェクト」の代表でもあった森田社長は、環境教育のネットワークを通じて知り合いだった、甘夏みかんの生産者である杉本雄さんに花を提供してもらえないか相談した。「水俣病」の語り部でもある杉本さんは、水俣病で漁ができなくなった35年ほど前から、自分が水俣病になった原因の化学物質と同じような農薬を「人に食べてもらうものには、決して使っちゃならん」と決心し、無農薬有機栽培を続けている方である。また、ちょうどその頃、世の中はアロマブーム到来で蒸留器が一般向けに販売されるようになり、効率的にネロリ（※ビターオレンジの花から水蒸気蒸留によって得られるエッセンシャルオイル）を抽出することができたことから、成分分析を行ったところ、蒸留水が乳化剤を必要としない天然の化粧水であることが証明された。そして、もう一つの問題であった原料の確保についても、春に収穫した花びらを冷凍保存しておけば、成分が変わらず通年での安定供給が可能とわかった。こうして、水俣産の完全無農薬甘夏みかんの花びらから、ネロリの化粧水を作るようになったが、事業化するのであれば、今までのように片手間ではできない。そこで、森田社長が引き受けることになり、ネロリを使っ



【1トンの花から1リットルしか
取れない希少で高価なネロリ】

た化粧水の事業化に日本で初めて取り組むことになった。

■事業のあらまし ～エコサート認証取得へ

事業を思い立ってからは、「それまでのネットワークやタイミングが後押ししてくれた」と、森田社長は振り返る。事業化するといっても、右も左もわからない。そんな時にもネットワークが役に立った。天草で塩を作っている（有）ソルト・ファームの小出社長である。YWCA 等のボランティア活動を通じて20年来の友人であった小出社長に相談したところ、「商工会議所に相談してみたら？」とアドバイスをもらい、熊本商工会議所を訪ねた。そこでは、化粧水の開発や販売を行うにあたり、収益事業の比率が高くなるとNPO法人のままではやっていけないことを指摘された。そこで、化粧水製造事業をNPO事業から切り離すことにし、株式会社を立ち上げる準備を始めた。さらに、熊本商工会議所では、事業の内容が農工商連携事業の要件を満たしているため、経済産業省で募集している農工商等連携事業計画に応募するよう勧められた。

そして、2009年1月に株式会社を設立後、6月には農工商等連携事業計画の認定を受け、10月には、東京ビッグサイトで行われた「BioFach Japan オーガニック EXPO&ナチュラル EXPO2009」に出展することができた。展示会では、国産のオーガニックネロリに対する大きな反響があったが、同時に、コスメ業界では単にナチュラルやオーガニックというだけでは説得力が弱いことがわかり、事業の方向性が見つかった。



【ネロリ化粧品】

た。その後は、国際有機認定機関として、オーガニック認証団体の世界基準とも言われているフランスに拠点を置く「エコサート」の認定を受ける商品作りを行った。

しかし、ここでも問題があった。保存料として添加するアルコールを一般のアルコールにするとエコサートの認証が受けられなくなるため、国内中を探し回ることになる。アルコールを取り扱っている卸会社に片っ端から電話をかけたがどこにもなく、諦めかけた頃、日本アルコール産業株式会社に辿り着いた。そこで「オーガニック化粧品を作るのに、どうしてもエコサートの認証を受けたアルコールが必要なんです」と電話で伝えた。すると、担当者に電話をつないでくれ、沖縄産サトウキビから生まれた糖みつを原料とした発酵アルコール「しまきび」をエコサート化粧品原料として申請中とのこと。あまりのタイミングのよさに驚きつつも、これでネロリ化粧品がエコサートの認証を受けられると喜んだ。

■今後の取組 ～水俣を甘夏ネロリの里に

将来的にはオーガニックコスメの本場へ進出したい

甘夏みかんは花付きがよく、実の10～100倍もの花が咲くことから、元々散るにまかせた花が産物になる。また、生産者の高齢化により耕作放棄地化が進んでいるが、花摘み作業は高齢者にも容易な軽作業であり、産地の課題解決にもつながる。甘夏みかんの花摘みツアー（毎年ゴールデンウィーク前後の開花の時期に実施）を通じて、甘夏みかんの花が一面に咲きほこる風景を見に来てもらい、歴史的教訓に基づいて環境都市に生まれ変わった水俣市をたくさんの人知ってもらいたい。



【甘夏みかんの木】

化粧水、クリーム、エッセンシャルオイルとシリーズ化できたので、今後は、せっけんを商品化したい。そして、コスメ先進国の韓国を手始めに、将来的には、オーガニックコスメの本場であるヨーロッパにも展開していきたいと考えている。

■活用した施策

- ・平成21年6月農商工等連携事業計画認定
- ・農商工連携資金制度（日本政策金融公庫）
- ・農商工連携保証制度（日本政策金融公庫）
- ・平成22年6月ベンチャープラザ二火会登壇

■その他特記事項

- ・平成21年度優良商品賞（民芸・日用品部門）受賞（熊本県物産振興協会）

■創業予定者に対するメッセージ

“自分の軸を大切に、
自分のネットワークを見直して”

■紹介機関からのコメント

森田社長がこだわり抜いた国内初の商品と地域活性化の一助を担う事業モデルの素晴らしさは他に類を見ません。

この事業は幅広いネットワークと事業への無垢で強い思いをもった森田社長だから可能となったものです。

女性起業家として、更に広がる夢にむかってこれからも種々のご苦労、試行錯誤が続くものと思いますが、必ず実現されることと確信しています。

熊本商工会議所としても可能な限りのご支援ができればと思っております。

（熊本商工会議所）